

2020年4月の行事予定表

1	水		16	木	祈禱会(証し会)
2	木	祈禱会(証し会)	17	金	
3	金		18	土	
4	土		19	日	礼拝式
5	日	受難週・礼拝式(聖餐式)、	20	月	
6	月		21	火	
7	火		22	水	
8	水		23	木	祈禱会(証し会)
9	木	祈禱会(証し会)	24	金	
10	金		25	土	
11	土		26	日	礼拝式、教会総会
12	日	イースター礼拝式、洗礼式、聖餐式、 教会役員会、墓前礼拝式	27	月	
13	月		28	火	
14	火		29	水	
15	水		30	木	祈禱会(証し会)

4月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。

編集後記

- ◇ ことし元旦礼拝には予想だにできなかった新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちの生活が一変した気がします。
- ◇ 教会では3月22日から会堂での集まり(礼拝)は自粛し、インターネットを活用したYou-Tube 動画配信が始まっています。
- ◇ 自宅でYou-Tube 画面を見ながらの礼拝にはじめは戸惑いましたが、時を同じくして共に礼拝している、という気持ちで、いつもご一緒する皆さんのお名前と顔を思い浮かべつつお祈りしました。
- ◇ 教会に来られなくて会えなくても、ネットで教会ホームページからも月報を読むことができます。ご活用ください。
- ◇ 教会の庭の桜がいつもと変わらずほころんできました。(編集子)

教会月報

2020年4月

No.347

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

イースターの喜び

「天使は婦人たちに言った。『恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、あの方はここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。』」

新約聖書・マタイ福音書28章5, 6節

人生を経験するわたしたちは、これまでの歩みをリセットして全く新しく始める事が出来たらいいのに、と考えることがあるかもしれませんね！しかし、現実には非情でそれを許しません。今を生きるしかないのです。

さて、3月下旬～4月の季節にめぐってくるイースター(復活祭=春分の日の中の最初の満月から数えて最初の日曜日)は、キリスト教においては無くてはならないものです。なぜなら、神の子イエスが十字架にかかれ、死んで墓に葬られた後、三日目に復活されたからです。そして、それ以降、約2,000年間、イエスをキリスト(メシア=救世主)と信仰告白し続けたキリスト者が歴史上存在しました。日本にも戦国時代フランシスコ・ザビエルたちによりキリスト教が伝わり、後、プロテスタント教会が宣教し現在人口比約1%100万人のキリスト者が信仰を保ち、礼拝を捧げています。

キリストの復活を信じるということは簡単ではありません。それも、あなたの罪(神に対する原罪=単数、と他者に対する罪=複数)をイエスが十字架にかかって贖って下さる(身代わりとなって)というものだからです。だれも頼みもしないのにあなたのためと言われて不快に思う人と、神の一方的な愛とを感じる人ではおのずと異なります。

誰もが自分の力を信じて生き続けます。しかし、時に挫折を味わい、無力感に襲われて自己に絶望することもあるでしょう。イースター(復活祭)は、死んで甦られたイエスが私たちに真の希望と喜びをもたらせます。

牧師 永松 清

新型コロナウイルス感染症対応 場所は違っても、ひとつ心で 礼拝を！

～インターネット礼拝始まる～



～3月22日(日)10:30より動画による礼拝配信が開始された。
会堂に出席された方々は各自離れて着席～

全世界的に広がっている新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、影響が広がっています。

岡山ナザレン教会でも、3月22日(日)からインターネットによる礼拝のライブ配信が始まっています。

3月15日(日)礼拝後にインターネット礼拝の予行演習を行ない、22日(日)からYouTubeによる礼拝のライブ配信が始まっています。ライブ配信は10時30分頃。礼拝開始は10時40分です。

3月22日(日)礼拝の式次第です。

招 詞	マタイ福音 6章 24 節	永松清牧師
主の祈り	93-5-B	一 同
共同の祈り		永松清牧師
使徒信条	93-4-B	一 同
旧約聖書	箴言 14章 23-25 節	永松清牧師
新約聖書	ルカ福音 22章 54-62 節	永松清牧師
説 教	「弟子の裏切り」	永松清牧師
祈 り		永松清牧師
祝 禱		永松清牧師

※教会学校および成人科の学びはお休みです。

※礼拝司会、奏楽、受付、献金の奉仕はありません。

礼拝に来られない方のために、YouTube による礼拝のライブ配信について下記にご説明します。

- スマホをお持ちの方は、
- インストールした YouTube のアプリを開いてください。「永松清」のチャンネルを事前にご登録願います。
 - 画面上の方の検索で、永松清と入力し、検索してください。
 - 幾つか画像が出て来ますので、永松先生の画像を探して、タップして下さい。
 - これで、ライブ配信にアクセスできます。
 - 画面の中ほど下に、チャンネルの登録ボタンがありますので、これをタップし、礼拝ライブ配信のチャンネルを登録します。
 - これで次回からは、YouTube を開いて、画面下の真ん中にある「登録チャンネル」をタップするだけで礼拝のライブ配信の画像が出てきます。



【会堂で礼拝を守ることが出来ない場合の心得】

1. 礼拝の式次第が岡山ナザレン教会メーリングリストで事前に教会員に連絡されますので、可能な限り同じ時刻(10:40)に、賛美し、聖書を読み、主からの語りかけに耳を傾け、祈りましょう。
2. 祈りは、教会員を主に在ってひとつにします。教会員ひとりひとりの顔を思い浮かべ、祈り合いましょ。
3. 牧師、信徒による戸別訪問(徒歩・自転車・自家用車を使用)は、極めて重要です。こうした交わりの輪を拡げましょう。そこで語られた“証し”を、教会全体で分かち合うことが出来れば幸いです。
4. インターネットを利用できない方々への対応を検討。インターネットを利用できる教会員のお宅に少人数で集まることや(徒歩・自転車・自家用車を使用)、礼拝メッセージを CD に録音し郵送する方法なども考えられます。
5. 電話による祈り合いも大きな励ましになるでしょう。手紙・はがきによる支え合いは、時を超え、場所を超え

た素晴らしい恵みとなるでしょう。

6. 教会堂で僅かな人数による礼拝も可能でしょう。その場合、事前に牧師に電話連絡した上で出席しましょう。

7. 主への感謝の献げものを心がけましょう。どのような方法が良いか、主から示された方法で主に応えましょう。(席上献金、月定献金は後日まとめて捧げることも可能)

これから当分のあいだ、場所は異なりますが、同じ時刻で共に礼拝を守りましょう！

3月伝道礼拝証し H.K.姉

♪ 神は私を救い出された
信じるこの身に おそれなどない。
尽きることのない 命の水を
価なく だれにも与えられる。♪



柘郎さんとの生活も3月21日で9年になります。10年目に入るこのタイミングで、お証しのご奉仕ができることに心より感謝します。

神様に名前を呼んでいただき、S 兄と出逢うことが出来て、本当に私は命を救われました。9年間をふり返ると感謝の言葉しか見つかりません。

自分だけが救われ幸せになっただけではいけないと、神様は言われます。その証しが私の二人の子供達です。洗礼までには至っていませんが、娘も息子も教会にはつながりを持たせていただきました。今は、Tさん、Yさんも教会に集って下さっています。全て私の力などではなく神様のご計画の内であったことでしょう。

人の力は弱い。人の心も弱い。だからいつも、神様の愛、聖霊の助けを身近に感じ、祈り、感謝をささげ、信仰生活を真っ直ぐに送って行くことが、私達の神様への恩返しであると思っています。

新年度より、女性会会長も三期目になります。なかなか大変なこともあります。会員の皆様に助けをいただきながら、二年間ご奉仕させていただきます。神様、牧師先生ご夫妻の生活と健康をお守りお支えいただきますよう、イエス・キリストの御名によりお祈

り致します。

キリスト者らしく、神様の声に目をさまし、起きて耳をすまし、じっと聞き、生活することこそ、大切だと教えられました。父と子と聖霊、三位一体。神様を信じて、この岡山教会に一生をささげたいと思います。皆様、これからもよろしく願います。アーメン。



教会役員新任あいさつ A.Y. 姉

率直な気持ちは、礼拝に参加するのがやっとだった私が、成人科に参加したいという気持ちにさせてくれたD姉妹の熱い信仰に由来します。もっと聖書について学んでみたいと思う気持ちは、「クリスチャンとして礼拝を守る」ことが当たり前になった私を内心「すごい！」と感していました。それ以上に「すごい!!」と思うことでありました。そのような私に変えてくれたのは、間違いなくD姉妹でした。そんなD姉妹が年末に大病を患い、入院生活を余儀なくされました。術後も大事を取らないといけな状況の中、教会員に新役員の話があり、私も辞退するかしないか返事をしなければなりません。今までの私なら、もちろん辞退したでしょう。物理的に難しいことはいくらでも挙げられるし、それ以前にあまりにも勉強不足、熱心なクリスチャンとは言い難い私。それでも辞退しなかったのは、大変な状況でも教会のために奉仕をしようとするD姉妹が頑張るのに私は何をしているのだろうと思ったからです。理由は何であれ、今与えられた役割を神様からのgiftと受け止めて、自分にできることを少しずつしていこうと思っています。

多くの素晴らしい先輩方がおられる間に知恵をいただき、熱い想いを受け止めながら、自らも鍛錬し、これからの岡山ナザレン教会を作っていく一人になれたらいいなと思います。

